



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日 東

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所  
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長 (氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,999	17.5	1,602	69.0	1,769	64.0	1,073	51.3
27年3月期第1四半期	6,806	△14.3	948	△40.5	1,079	△40.2	709	△38.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,080百万円(89.7%) 27年3月期第1四半期 569百万円(△66.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	78.68	—
27年3月期第1四半期	52.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	52,178	41,569	79.7
27年3月期	50,460	41,103	81.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 41,569百万円 27年3月期 41,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成27年3月期期末配当金の内訳 特別配当15円を含んでおります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	11.3	3,000	56.9	3,100	47.1	1,900	39.7	139.28
通期	30,000	△1.0	4,200	5.1	4,300	8.1	2,700	10.8	197.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	14,000,000株	27年3月期	14,000,000株
28年3月期1Q	357,937株	27年3月期	357,937株
28年3月期1Q	13,642,063株	27年3月期1Q	13,642,063株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しの兆しがみられる個人消費に加え、輸出・生産の持ち直しにより企業収益に改善傾向がみられるなど、緩やかな回復傾向が続いております。一方、米国の金融政策正常化に向けた動きの影響、欧州や中国及びその他新興国経済の先行きに対する懸念等、海外景気の下振れリスクも抱え推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境におきましても、依然として少子化やテレビ用アニメーションの視聴率低下傾向、娯楽の多様化等により厳しい状況が続いておりますが、一方では劇場用アニメーションの活況、露出媒体としての映像配信サービスの拡大、中国をはじめとするアジア市場の伸張、インバウンド需要の拡大等、アニメーションビジネスの成長機会が見込まれる分野も数多くあります。

こうしたなか、当社グループは、国内で「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「聖闘士星矢」シリーズ、海外で「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「聖闘士星矢」シリーズを主とした、テレビ・映画・ブルーレイ・DVD・携帯端末・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクターライセンス等の版權事業、キャラクター商品の開発や販売等を行う商品販売事業、キャラクターショー等を行うその他事業を展開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は79億99百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は16億2百万円（同69.0%増）、経常利益は17億69百万円（同64.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億73百万円（同51.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含みます）。

なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

## ①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアオールスターズ 春のカーニバル♪」、4月に『ドラゴンボールZ 復活の「F」』を公開しました。『ドラゴンボールZ 復活の「F」』のヒットにより、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「Go!プリンセスプリキュア」、「美少女戦士セーラームーン Crystal」、「ワールドトリガー」、「聖闘士星矢 黄金魂」、「ドラゴンボール改」の6作品を放映・配信しました。前年同期に比べ、放映本数が減ったことから、大幅な減収となりました。

パッケージソフト部門では、「デジモンアドベンチャー」のブルーレイが好調だったこと等から、大幅な増収となりました。

海外部門では、北米向けの「ドラゴンボール」シリーズの映像配信権の販売が好調に稼働したものの、前年同期にあった複数作品の中国向け大口映像配信権の販売時期のずれにより、大幅な減収となりました。

その他部門では、ソーシャルゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシーカードバトル』やブラウザゲーム『聖闘士星矢 ビッグバンコスモ』等が前年同期に比べ軟調に推移したことから、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は28億41百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント利益は4億11百万円（同15.7%減）となりました。

## ②版權事業

国内部門では、複数作品で遊技機の大口契約があったことに加え、「ワンピース」のアプリゲーム化権や「ドラゴンボール」シリーズの商品化権の販売が好調に推移したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

海外部門では、欧米向けで「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権の販売、アジア向けでは「聖闘士星矢」シリーズのアプリゲーム化権や「ワンピース」の商品化権の販売が好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は37億1百万円（前年同期比74.5%増）、セグメント利益は16億29百万円（同83.1%増）となりました。

## ③商品販売事業

商品販売部門では、『ドラゴンボールZ 復活の「F」』の劇場公開に伴うタイアップ・販促関連やショップ事業の拡大により、前年同期と比較して増収となりましたが、新規店舗の関連費用が増加しました。

この結果、売上高は12億29百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント損失は18百万円（前年同期は、7百万円のセグメント利益）となりました。

## ④その他事業

その他部門では、「ワンピース」の催事イベントや「Go!プリンセスプリキュア」のキャラクターショー等を展開しました。「ワンピース」の催事関連が好調に稼働したことから、大幅な増収となりましたが、催事の企画制作費が増加しました。

この結果、売上高は2億81百万円（前年同期比24.7%増）、セグメント利益は9百万円（同71.2%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月14日付の決算短信で発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,144,811	20,291,765
受取手形及び売掛金	6,522,612	5,565,055
商品及び製品	86,915	127,506
仕掛品	462,660	634,929
原材料及び貯蔵品	53,351	45,708
その他	736,889	555,262
貸倒引当金	△93,000	△91,555
流動資産合計	25,914,239	27,128,672
固定資産		
有形固定資産	3,635,602	3,568,061
無形固定資産	195,906	208,312
投資その他の資産		
投資有価証券	10,615,958	10,699,050
関係会社長期貸付金	6,000,000	6,000,000
その他	4,139,688	4,615,675
貸倒引当金	△41,133	△41,133
投資その他の資産合計	20,714,513	21,273,592
固定資産合計	24,546,022	25,049,966
資産合計	50,460,262	52,178,639
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,229,911	5,569,083
未払法人税等	750,882	384,808
賞与引当金	244,253	111,627
その他	1,634,700	2,966,691
流動負債合計	7,859,747	9,032,211
固定負債		
役員退職慰労引当金	162,370	105,820
退職給付に係る負債	942,634	962,113
その他	392,127	508,500
固定負債合計	1,497,132	1,576,434
負債合計	9,356,880	10,608,645
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	33,602,758	34,062,218
自己株式	△543,591	△543,591
株主資本合計	39,336,316	39,795,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,302,356	1,375,843
為替換算調整勘定	464,708	398,374
その他の包括利益累計額合計	1,767,064	1,774,217
純資産合計	41,103,381	41,569,993
負債純資産合計	50,460,262	52,178,639

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,806,119	7,999,774
売上原価	4,464,439	5,135,776
売上総利益	2,341,680	2,863,998
販売費及び一般管理費	1,393,444	1,261,198
営業利益	948,235	1,602,799
営業外収益		
受取利息	19,626	15,758
受取配当金	107,082	117,981
持分法による投資利益	7,299	27,363
その他	4,188	20,786
営業外収益合計	138,197	181,889
営業外費用		
為替差損	6,978	11,753
その他	451	3,430
営業外費用合計	7,430	15,184
経常利益	1,079,002	1,769,504
特別損失		
建物解体費用	—	220,000
特別損失合計	—	220,000
税金等調整前四半期純利益	1,079,002	1,549,504
法人税、住民税及び事業税	282,560	298,629
法人税等調整額	87,122	177,523
法人税等合計	369,683	476,152
四半期純利益	709,319	1,073,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	709,319	1,073,352

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	709,319	1,073,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,837	66,195
為替換算調整勘定	△66,230	△66,333
持分法適用会社に対する持分相当額	4,205	7,290
その他の包括利益合計	△139,861	7,152
四半期包括利益	569,458	1,080,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569,458	1,080,504
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。